博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野

科目コード:250009

高齢者ケアシステム論

担当教員	川島 和代、中道 淳子、堀田 聡子、得居 みのり、高道 香織、惣万 佳代子、井出訓					
実務経験						
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習	
必修・選択	選択	時間数	30			
Keywords	介護保険、国外の高齢者ケアシステム、連携システム、小規模多機能施設、制度への働きかけ、認知症の地域支援					
学習目的・目標		呆険制度成立の背景とそ 本の高齢者施策を提言で		本の現状を理解し、国外 <i>0</i>)高齢者ケアシステムの現状	

授業計画・内容

《授業展開の方法》

介護保険法の成立の背景とその後の改正の意味を自主学習し、その発表を元に討議を行う。

- ・国外(欧米やアジア等)の高齢者ケアシステムを学び、日本のケアシステムの課題が説明できる。 ・病院地域連携室のCNSから、在宅への連携システムの現状と課題を学び、意義を説明できる。
- ・小規模多機能施設の所長から、設立に至る背景と行政との折衝の経験を学び、制度提案の意味が説明できる。
- ・認知症高齢者の地域支援(小学校、自主グループ)活動を体験し、認知症の人特有の地域支援システムの重要性が説明できる。

回	内容	授業方法	担当
1-2	ガイダンス 日本における高齢者ケアシステムの現状を学ぶ	プレゼンテーショ ン	川島和代 中道淳子
3-4		講義	堀田聡子、井出訓 川島和代
5-7	一般病院〜在宅の連携におけるケアシステムを学ぶ 1.	講義	得居みのり
8-10		「このゆびとーまれ 」における講義 演習	惣万佳代子
11-13	認知症高齢者におけるケア・社会システムを学ぶ	講義	高道香織
14-15 16-18		講義演習	中道淳子
19-22			

教科書	惣万佳代子: 笑顔の大家族 このゆびとーまれ「富山型」デイサービスの日々		
参考図書等	高齢者のための知的機能検査の手引き、第1版、フールドプランニング、1991 改訂最新老年看護学 看護協会出版会 2011		
評価指標	プレゼンテーション(介護保険) 60% レポート(小規模多機能施設、認知症高齢者支援システム) 40% *4段階評価:「大変積極的、まあまあ、普通、余り積極的でない」		
関連科目	高齢者健康生活論、高齢者生活援助論		
教員から学生への メッセージ			